



オリーブ・ラバーズ便り

日本のお盆も終わり夏の長期連休から忙しい日常にもどられた方も多いかと思いますが。水分補給や栄養バランスのよい食事、適度な運動などで、夏バテに気をつけて、あと少しの残暑を乗り切ってくださいね。さて、こちら冬のメルボルン。メルボルンはカフェの街ですが、お店の中だけでなく、外でコーヒーを楽しむ人たちが多く、それは冬でも例外ではないのです。さすがに雨の日は除きますが、寒い冬でも天気の良い日はコートヤード（テラス席）でコーヒーや食事を楽しむ姿を見ます。もちろん屋外用のストーブやヒーターは活躍していますが。。新鮮な空気や景色をみながら嗜むコーヒーは一段と美味しいのでしょうか。

さて、今回は世界でのオリーブオイル詐欺についてをまとめてみました。今は世界中でオリーブオイルを愛用していますが、高品質なオリーブオイルがより手に入りやすくなった反面、その品質を偽造して高価に販売している詐欺も多くなっているといわれています。ここでは、さまざまな国のオリーブオイル詐欺についての記事を抜粋してまとめてみました。

世界でのオリーブオイル詐欺

【中国】

オリーブオイルの賞味期限を偽造

July 2017

中国当局は、詐欺的な賞味期限のラベルを貼ったオリーブ油を売却しようとしている疑惑を調査し、5人の容疑者を逮捕しました。中国浦東省の市場検査官と警察官は、外国産オリーブオイルのボトルの賞味期限を偽造し、それらを卸売業者に売ることによって何百万ドルも儲ける計画をしたとして、容疑者5人を逮捕しました。当局は2つの倉庫からおよそ10,000本の(約1300カートン)を押収しました。警察によると、このボトルが売却されれば、このプロットは132万ドルの違法利益を得るどころになったとのこと。検察官は、容疑者に懲役2年の懲役を言い渡したが、しかし当局が人々の健康が賞味期限の切れたオイルで危険にさらされていると判断すれば、期間は長くなる可能性があるとの事です。

【ブラジル】

広範囲のオリーブ油詐欺を明らかにする

April 2017

ブラジルの農林水産省は、過去2年間に分析されたオリーブ油の64%が、その表示に必要とされる品質基準を満たしていないと報告しました。ブラジルの農林水産省(MAP)の調査によると、近年、オリーブオイルの消費が急増している国では、オリーブオイル製品の誤表示が広範囲にわたっていることが明らかになりました。

MAPレポートは、過去2年間に分析された140種のうち45種のオリーブ油が、その表示に必要とされる品質を満たさないことを確認しました。

オリーブオイル詐欺の発生率は、サンパウロ、パラナ、サンタカタリナ、連邦区で最も高く、パッケージング会社の数が多い地域でした。主にアルゼンチンから、大量にオリーブオイルを輸入する瓶詰業者の間で詐欺が蔓延していました。この調査では、85%の大豆油と15%のランタン油で構成された「オリーブオイル」を販売していたパラナの企業は、さらに精製され人間の消費に適さないグレードということが明らかになりました。

MAPは、ブラジル12ヶ国から採取したオリーブオイルサンプル322,329リットルを分析し、207,579リットル(64%)が標準以下であることを発見しました。

不良品のオリーブ油が押収され、詐欺師が公務省に報告された。彼らは最大17万ドルの罰金を科せられ、警察の捜査が開始されるとのことです。

今月、ブラジルの偽造オリーブオイルの削減が強化されました。MAPは、過去2年間に不正を示した企業のサンプルを収集しました。4月の第1週に、243,000リットルの疑いのあるオリーブ油を分析のために集めました。MAPの農務長官のLuis Rangelによると、結果は、不正を特定する上での当局の効率性と、標準以下のオリーブ油が消費者に届かないようにするという彼らのコミットメントを示しました。

オリーブオイルは、リオグランデ・ド・スル州、ゴイアス州の国立農業畜産研究所(LANAGRO)によって分析されました。

省庁は、オリーブ油が標準価格より低い価格で販売されている場合、消費者に疑念を抱かせ、またラベルをチェックして製品がどこでパッケージされているかを確認するようアドバイスした。

【イタリア】

オリーブオイル詐欺の罪で33人逮捕

February 2017

イタリアの作戦は、イタリアのオリーブオイル取引に侵入し、偽造品を米国に輸出したと推測されている組織の一員であると考えられる33人の逮捕につながりました。

イタリアのカラビニエリ氏は、カラブリアのマフィアの33人の容疑者を逮捕しました。この犯罪組織は、偽のエクストラバージンオリーブオイルを米国に輸出したという事です。

カラブリアのマフィアは、イタリアで最も裕福で最も強力な犯罪ネットワークであるとされており、麻薬取引に加えて、当局は彼らが精巧なオリーブオイル偽造を含むアグロマフィアの主要だと考えられています。

調査官によると、すでにプレスされた果肉から化学溶剤を使って抽出されたオリーブポマースオイルを輸入し、低品質の混濁したオイル製品をエクストラヴァージンオリーブオイルとして米国に輸出して、ニューヨーク、ボストン、シカゴの小売チェーンを通じて販売されたとIRPIが明らかにしました。

犯罪組織は、適切な場所に適切な人を把握しているため、この詐欺を実行することができました。また、地方の不動産、食糧・農業事業の大半、戦略的に港湾位置を含む、Gioia Tauro南部自治体の周辺地域を管理すると考えられています。

彼らはまた、ミラノ北部の都市の流通チェーンに浸透するための範囲を拡大し、米国にオリーブオイルを輸出する事業を引き継いだとBusiness Standardが報告しました。

偽のオリーブオイルを売ることは、貧困者の計画ではありません。昨年、高品質のオリーブ油は1ガロン当たり50ドルで販売されていましたが、偽の製品はわずか7ドルで作られているとのことです。ジャーナリストのトム・ミューラー氏は、「利益マージンはコカインに比べて3倍も良い」と語っています。

重大な経済的損失に加えて、イタリアは評判の低下の影響に直面しています。国はオリーブオイルの輸出国であり、米国は世界で3番目に大きな市場であり、売上高は20億ドルです。ブルームバーグ氏によると、それにはイタリアから輸入された製品に費やされる何億ドルもの収入が含まれているとのことです。それでも、オリーブオイルは、アメリカの食用油市場全体の一部にすぎません。消費は1人当たり1リットル未満である、とブルームバーグ氏は述べました。そのため、イタリアのようなオリーブオイルやサプライヤーにとっては成長の可能性がたくさんありますが、不正な製品は自社製品への信頼を損なう可能性があります。

食品詐欺もまた健康上の懸念を引き起こし、アレルギー反応を起こす危険性があります。また、一部の製品には、低品質の汚染物質が含まれていることが判明しておりそれはさらなるリスクがあることを示します。

イタリアは問題を見て見ぬふりをせず、食糧詐欺に特化した特別部隊を持っています。60分TVプログラムによると、昨年の時点で、そのチームには味覚検査で不正なオリーブ油を特定できる60人の警察官と検査と調査に焦点を当てた1100人の警察官が含まれていました。

【スペイン】
イタリアに輸出された精製されたオリーブオイルのためにスペインで開かれた調査 February 2017

スペインは、アンダルシアからの石油製品の改ざんを確認するいくつかの調査を実施した後、イタリアから国際司法協力の要請を受けました。

スペインのコルドバ（Córdoba）にある企業が、アンダルシアの他の団体とともに、混合されたオリーブ油を本物のエキストラバージンオリーブオイルとして販売するためにイタリアに輸出したとされているとの、調査の報告書が LaFiscalía Provincial de Córdobaによって提出されています。

消費者に対する犯罪の可能性のあるものの調査が昨年末、ブック大臣によって開始されました。今回の事件を踏まえ、Jaén検察庁とVillacarrillo市長が送付した混合油の販売疑いのある3社の協同企業を調査を継続する報告書が送付されました。エウロパ・プレス社の文書によると、混合油は脱酸と脱臭のプロセスを経て、エキストラバージンオリーブオイルやランタンオリーブオイルとして輸出された後、様々な業者によってイタリアで販売されたということです。

イタリアの当局は2013年に同様の事件を発見したと主張し、タラゴナ、セビージャ、コルドバ州の3社を調査する司法協力も要請していることから、この犯罪は何年も起こっている可能性があります。

この調査によると、スペインのサプライヤーから少なくとも9人の顧客に提供されたオリーブオイルは、水槽トラックに保管され、エキストラバージンオリーブオイルとして偽装されたサレルノに到着しました。油は分析検査のために提出され、分析された6つの製品は感覚刺激の必要条件に関して不正があることが判明しました。

他の5つのケースでは、分析されたテストが異常な要因を示したために、市場で認められていない技術的処置（脱臭のプロセスなど）が疑われました。以前の調査によると、コルドバとアルメリアのスペイン企業がつながっている可能性があるかと推測されました。

詐欺に関与していたコルドバとアルメリアの両社は、イタリア当局の目には同じである。彼らは、スペインのサプライヤーが、さまざまな出荷で最初に分析された検査の効果を分散させることを意図していると確信しています。

【デンマーク】
グローバル活動で押収された2億500万ドルの偽の食品 March 2017

インターポール（国際刑事警察機構）とユーロポール（欧州刑事警察機構）の共同活動では（Operation OPSON VI）、2億3000万ユーロの偽造品および標準以下の食品および飲料が押収されました。61カ国で実施されたこの活動は、オリーブオイルから高級品、アルコール飲料まで幅広い食品詐欺を明らかにしました。インターポールの、違法行為およびグローバル・ヘルス・プログラムのコーディネーターであるFrançoiseDorcierは、「この作業は、犯罪者が利益を得ている限り、人件費を考えずにあらゆる種類の食糧と飲料を偽造することを示しています。我々は一般の人々が購入した製品について警戒し続けるよう引き続き奨励している」と述べています。

2016年12月1日から2017年3月31日まで、61カ国がOPSON VIに参加し、各国は、警察、税関職員、食品規制機関、民間セクターのパートナーを含む国別運営を行いました。オリーブオイルに関しては、参加国は活動の前に、詐欺を検出の役立てるため、オリーブ油品質に関するユーロポールの特別の訓練を受けました。

ショップ、市場、空港、港湾、工業団地で合計5万件がチェックされ、作業終了までに、9,800トンの食糧、2640万リットルの液体、1300万アイテムが押収されました。

デンマークでは、オリーブオイルに焦点を当てていました。獣医食品管理局は、スーパーマーケットで販売されたサンプルを分析し、表示規則の遵守状況を確認しました。結果は、テストされた「バージンオリーブオイル」の多くが実際にブレンド、またはランタン油であることを示しました。



【ガーナ】
オリーブオイルの詐欺師摘発 August 15, 2016

ガーナの警察は、オリーブ油と表示して、その他の植物油を売ったと数人の瓶詰め業者を逮捕したとのことです。

いくつかのケースで、詐欺師はサンプルを食品医薬品局（Food and Drug Authority）に承認のために提出した後、偽造品とすりかえて市場に売り出しました。代理店には、K*****P****、H****Olive Oil、そして有名な「Q****Olive Oil」の4つのブランドが出ていました。

ガーナの食品医薬品局の食品執行部（Food Enforcement Department, FED）は、食品製造、貯蔵、小売および処分に関する検査を実施し、Good Manufacturing Practicesの遵守を検証しています。FEDには、食品郵便市場監（FPMSU）、食品敷地検査（FPIU）、産業支援サービス（ISSU）の3つの事業ユニットがあります。

ガーナの経済は、25年以上の相対的な安定と良好な自治に続いて、アフリカで最も強力なものです。ガーナの成長する経済的繁栄と政府の民主的制度は、西アフリカにおける地域的権力となりました。

【ポルトガル】
侵略されたオリーブオイルを押収する November 2016

ポルトガルの食品規格であるASAEはPenamacorの町の会社から6,000リットルの偽のオリーブ油を押収しました。

ポルトガルの食品規格機関ASAEは先週、リスボンの首都リスボンから北東に約270キロ離れたPenamacor市の会社から6000リットルの偽のオリーブ油を押収したと声明で述べました。生産と輸入から販売までの食品規格と安全性を検査し実施するポルトガルの機関であるASAEによると、6000リットルの偽造オリーブ油が先月「ゴールデンオイルIII」というオペレーションコードの一部として押収されたとのことです。

この襲撃で、合計3,400リットルの偽油が小型ボトルと大型ボトルに移され、ASAEの国家情報犯罪調査部（National Information and Criminal Investigation Unit）の調査官は、オリーブオイルと表示された油ブレンドを発見しました。また、2,400リットルのランタン油で満たされたタンクを押収しました。

押収されたすべての製品の市場価値は約3万ユーロ（31,809米ドル）でした。「サプライチェーン全体の調査の過程で、製品は様々な評議会地域にあるいくつかの小売業者や卸売業者に押収され、偽造品や食料品の刑事訴訟が開始され、包装業者はこれらの同じ犯罪の再犯者である」とINE声明は述べました。

輸入業者と包装会社は、オリーブオイルを他の植物油と混合し、ボトルに注ぎ、バージンオリーブオイルとしてラベルを貼っていることが明らかになりました。

オペレーションゴールデンオイルIIIは、その名前が示すように、以前の年にASAEが実施したオペレーションゴールデンオイルIとIIに従っています。

今年の8月には、ブラジルの消費者レポート誌Protesteが、スーパーマーケットで販売されている19種類のオリーブオイルブランドのテストで、ポルトガルのオリーブオイルの3つのブランドが偽造されていることが判明しました。

P*****、F***** da F**、T*****のオリーブオイルは、オリーブオイルと他の植物油の混合物であることが判明しました。別の3つのブランド（Q*****、B*****、C***** D*****、F***** B****）はエキストラヴァージンオリーブオイルとして分類されましたが、バージンオリーブオイルであることが判明しました。

国別統計研究所（INE）によると、オリーブオイルの生産は2015年にポルトガルで75年ぶりの高水準を記録し、2016年のオリーブオイル生産は50年ぶりの高水準に達する見込みです。

近年、オリーブ畑の新しい灌漑施設が、南アフリカのアレテンジョ地方に植えられており、オリーブの75%以上が生産されています。これは、収穫が成功するために年間降水量に依存しないことを意味します。

【イタリア】 オリーブオイル詐欺の罪で33人逮捕

February 2017

イタリアの作戦は、イタリアのオリーブオイル取引に侵入し、偽造品を米国に輸出したと推測されている組織の一員であると考えられる33人の逮捕につながりました。

イタリアのカラビニエリ氏は、カラブリアのマフィアの33人の容疑者を逮捕しました。この犯罪組織は、偽のエクストラバージンオリーブオイルを米国に輸出したということです。

カラブリアのマフィアは、イタリアで最も裕福で最も強力な犯罪ネットワークであるとされており、麻薬取引に加えて、当局は彼らが精巧なオリーブオイル偽造を含むアグロマフィアの主要だと考えられています。

調査官によると、すでにプレスされた果肉から化学溶剤を使って抽出されたオリーブポマースオイルを輸入し、低品質の混濁したオイル製品をエクストラヴァージンオリーブオイルとして米国に輸出して、ニューヨーク、ボストン、シカゴの小売チェーンを通じて販売されたとIRPIが明らかにしました。

犯罪組織は、適切な場所に適切な人を把握しているため、この詐欺を実行することができました。また、地方の不動産、食糧・農業事業の大半、戦略的に港湾位置を含む、Gioia Tauro南部自治体の周辺地域を管理すると考えられています。

彼らはまた、ミラノ北部の都市の流通チェーンに浸透するための範囲を拡大し、米国にオリーブオイルを輸出する事業を引き継いだとBusiness Standardが報告した。

偽のオリーブオイルを売ることは、貧困者の計画ではありません。昨年、高品質のオリーブ油は1ガロン当たり50ドルで販売されていましたが、偽の製品はわずか7ドルで作られているとのことです。ジャーナリストのトム・ミュラー氏は、「利益マージンはコカインに比べて3倍も良い」と語った。

重大な経済的損失に加えて、イタリアは評判の低下の影響に直面しています。国はオリーブオイルの輸出国であり、米国は世界で3番目に大きな市場であり、売上高は20億ドルです。ブルームバーグによると、それにはイタリアから輸入された製品に費やされる何億ドルもの収入が含まれています。

それでも、オリーブオイルは、アメリカの食用油市場全体の一部にすぎません。消費は1人当たり1リットル未満である、とブルームバーグ氏は述べた。そのため、イタリアのようなオリーブオイルやサプライヤーにとっては成長の可能性がたくさんありますが、不正な製品は自社製品への信頼を損なう可能性があります。

食品詐欺もまた健康上の懸念を引き起こす。アレルギー反応を起こす危険性があります。なぜなら、実際にアレルギーを消費する一方、消費していると信じているからです。また、一部のアロマフィア製品には、低品質の汚染物質が含まれていることが判明しており、追加のリスクが存在します。

イタリアは問題を盲目的に捉えておらず、食糧詐欺に特化した特別部隊を持っています。60分によると、昨年の時点で、そのチームには味覚検査で不正なオリーブ油を特定できる60人の警察官と検査と調査に焦点を当てた1100人の警察官が含まれていました。

【オーストラリア】 オーストラリアの会社が食品詐欺と戦う目に見えない技術を開発

July 2017

中国のような主要市場がオリーブオイルなどの輸入高級食品に対する需要を高めていることから、オーストラリアのYPBグループは業界標準となる目に見えない追跡技術を開発しました。

YPB Groupと呼ばれるオーストラリアの企業は、精巧な食品偽造品に対抗するために、国内外の食品製品輸出者を支援する全く新しい不正防止技術を開発しました。

目に見えないトレーサ技術には、塗料、プラスチック、インクをキャップ、コルク、ラベルに混ぜることができ、さらには直接食品に混入する不可視の粒子が含まれています。

偽造者が製品を複製するのを防ぐスケラブルな解決になるというビジョンをもって2015年に初めて開発されたこの特許製品は、製品を包装または封止するほぼすべての基板に埋め込むことができ、無機、非放射性微量鉱物に基づき、ヨーロッパ、アメリカ、中国の食品医薬品局が食品と直接接触するのに安全であることを証明しています。アジア太平洋地域の企業はすでに、納税証明書からコンシューマー製品、医薬品まであらゆるものを保護するために使用されています。

YPBグループの最高経営責任者（CEO）のJens Michel氏によれば、「真正性の保護または認証を必要とする製品はすべて、ブランドの完全性を保護し、リスクを低減する当社の技術の恩恵を受ける」とし、この技術は地元および国際的なオリーブオイル農家と生産者が容易に採用することができるとしています。

この技術は、特定の製剤を使用して、不可視光スペクトルの照明を可能にし、人間の目には見えないようにすることによって機能します。特別に装備されたスキャナは、製品固有の署名を検出し、トレーサー材料に基づいて認証応答を提供します。

自社の製品またはパッケージにこの技術を使用することを選択したブランドは、特別なスキャナーを備えているため、製品の真正性を検証することができます。YPBは、自社の製品パッケージを使用してブランドを支援したり、ソリューションをビジネスの既存のプロセスに統合することができます。また、更なる認証のために特定の企業や期間にさかのぼれる固有の追跡可能なサイン認証を追加することもできます。

他の詐欺防止対策とは異なり、この技術は中国の唯一の目に見えないトレーサー企業としてCTAAC（China Trade Association for Anti-Counterfeiting）によって認められています。これはオーストラリアの食糧輸入の人気の高まっているため、競合他社に比べて大きな利点をもたらします。

食品安全と詐欺は、中国の消費者とオーストラリアでの450億オAUドルの農産食品輸出市場にとって大きな懸念事項です。PWCの調査によると、オリーブオイル（アルコールおよびシーフードに加えて）はオーストラリアで最も偽造された製品の1つであり、平均的な製品はサプライチェーンを通る途中で100以上の改ざん機会を詐欺師に提供しています。

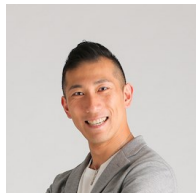
中国の消費者の70%以上が食品の安全性と信頼性に大きな懸念を抱いており、80%以上が検証済みの製品に追加費用を払う意向があることが、Pew Internet Research Surveyによって明らかになりました。

参考資料:オーストラリアオリーブ協会(AOA)

グルメラバーズ正規代理店のご紹介

こんにちは。
この度、グルメ・ラバーズの日本正規代理店を務めることになりました高橋裕紀と申します。
まず、全国の皆様の商品を購入するための公式オンラインショップサイトを作成しました。
このオンライン販売を皮切りにグルメ・ラバーズ社のブランド認知度を高めていきたいと思っております。また、小売店様、量販店様、飲食店様への卸販売にも力を入れていきたいと思っております。日本でも多数の受賞歴を持つグルメ・ラバーズ製品をもっと多くの方々にとって頂くことにとてもやりがいを感じ、ワクワクしております。皆様とGourmet Lovers製品を通して、長いお付き合いができる事を楽しみにしております。商品等で何か気になることがございましたら、お気軽に私までお問い合わせください。
どうぞよろしくお願い致します。

高橋 裕紀



株式会社グルメ・ラバーズ
日本正規代理店 代表
高橋 裕紀

Hiroki Takahashi
Japan Local Representative
Gourmet Lovers Pty Ltd
Tel: +81 47 475 7188
Fax: +81 47 475 7188

日本公式ショップサイト:
<http://gourmetlovers.shop/>

EVOO クッキング

タコのカルパッチョ

【材料】タコ（ゆで） 300g
トマト
たまねぎ
★オリーブオイル
★酢
★塩
★こしょう
★レモン汁

【作り方】

- ・たこを薄くスライスする
- ・トマトは食べやすい大きさに切る
- ・薄くスライスしたたまねぎを水につけておく
- ・それぞれの材料の水分をよく切り、ボウルにいれて
- ・★の材料を混ぜ合わせたタレをからめて出来上がり

